

## 基調報告

### (1) 強制執行を許さず市東さんの農地を守ろう！

昨年6月8日、『請求異議裁判』の最高裁による上告棄却決定から1年4カ月、われわれは市東さんの農地を守り勝利してきました。しかし先月の9月2日、『新やぐら裁判控訴審』において東京高裁・渡部勇次裁判長は控訴を棄却したうえに、許しがたいことに仮執行宣言を付けました。反対同盟の看板と櫓(やぐら)は市東さんの農地と一体のものとして存在しており、市東さんの農地を奪い農業と生活を破壊しても構わないとする判決を絶対に許すことはできません。われわれは最高裁に上告すると同時に、執行停止の申し立てをしました。判決で「仮執行しない理由がない」と言い放った裁判官どもに農民の生き方を示しましょう。人間の尊厳を示しましょう。強制執行阻止へ闘いましょう！

このように天神峰農地が強制執行可能な状況にあることの一方で、南台農地を対象とした『耕作権裁判』が千葉地裁で係争中です。本田晃裁判長は「もう16年経っているから」と、空港会社の証拠偽造の不正に蓋をして主張整理を打ち切り、裁判を終わらせようと画策しています。市東東市さんの署名・捺印を空港会社が偽造しました。最後まで空港公団との話し合いや接触も拒否した東市さんの名誉にかけて、真実を明らかにしなければなりません。11月28日の傍聴闘争への決起をお願いします。

決戦本部を先頭に強制執行を迎え撃つ態勢をつくりつつ「どんな攻撃が来ても、この地で農業を続ける」という市東孝雄さんの農業と暮らしを守り支えていきましょう。

### (2) 空港機能強化粉碎！ 空港拡張撤回署名を集めよう！

9月4日、B滑走路延伸工事の着工阻止を訴えて現地闘争を闘いました。成田空港機能強化は「国が目標に掲げる『2030年訪日客6000万人』に対応できる体制をつくる」(田村明比古 NAA 社長)として、年間50万回発着のために1000畝もの土地を買収して敷地面積を2倍化、農地や森林、水系など自然環境をずたずたに破壊し、住民の反対を無視して強行されようとしています。

しかし航空需要の激減は深刻です。新型コロナウイルスの影響で海外との渡航制限がしかれる中、航空各社とともに成田空港は大赤字に陥っています。現

在の旅客数はコロナ前の19年の約50パーセントにすぎません。

〈成田空港の旅客数〉

7月 国際線 84万3005人 (19年同月比 26%)

国内線 59万3297人 (同 86%)

8月 国際線 94万5053人 (同 27.6%)

国内線 73万2229人 (同 93%)

政府はこの10月にも渡航制限を解除し訪日観光客を受け入れ、全国旅行支援もあわせて観光需要を活発にするとしていますが、新たなコロナ感染拡大で、さらなる医療ひっ迫を招きかねず、観光需要が戻るという保証はありません。

さらに環境への影響も大きくなります。国連の専門機関・国際民間航空機関 (ICAO) は脱炭素の取り組みを加速させるため「23年まで19年の排出量を上限として超えないようにし、24年以降は上限を19年比で85%に引き下げる」「国際線の排出量を2050年に実質ゼロ」という目標を掲げました (米政策研究機関によると19年の航空機CO2排出量は10億トン超で、船舶の1.2倍、鉄道の4.2倍。全排出量の3%にあたる)。この目標自体は業界の自己目標であり大変甘いものですが、ヨーロッパでは「フライト・シェイム (飛び恥)」として批判され取り組みが急務とされています。

反対同盟は7月から「地球環境の破壊と気候変動をもたらす、すべての空港拡張計画の白紙撤回を求める署名」運動を開始しました。地球環境を守り戦争に反対する思いを込めました。騒音被害に苦しみ落下物の危険にさらされる住民とともに成田空港機能強化を止めましょう。署名運動への取り組みをお願いします。

### (3) 改憲阻止、岸田政権打倒！

岸田政権は安倍政治を引き継ぎ、戦争準備を進めています。昨年陸自大演習、中国を包囲する多国間の大規模演習が行われています。核共有を主張した安倍晋三を国葬で賛美し、北朝鮮のミサイル実験に危機をあおって「祖国防衛」を叫んでいます。また、大雨被害に苦しむ人々をしり目に、フクシマを忘れ、脱炭素を口実に原発推進を明言しました。「何をやりたいのかわからない」のではなく「何でもやる」のが岸田政権です。改憲阻止、中国侵略戦争阻止に立ちあがり、沖縄・福島と連帯して岸田政権を打倒しよう。